

開催報告：福岡正巳先生学生のための特別講義を日本大学で開催

日本大学生産工学部土木工学科 今野 誠

平成9年2月5日福岡正巳先生は日本大学生産工学部1号館AV室で大学院生、学部生を対象とした特別講義を行いました。演題は「土質工学における新材料の活用」です。

まず学生に予備知識を与えるためのOHPを使ってジオシンセティックスの機能、分類を詳しく説明された後、IGSの英語版のビデオ「ジオシンセティックスの交通施設への適用」と「廃棄物処理に使用するジオシンセティックス」を用いて英語の音声を極力低くして日本語で分かりやすく説明されました。学生にとっては先生からジオシンセティックスの入門から現在の技術の最先端までを系統立てて説明され大変感銘を受けたようでした。



写真-1 福岡先生の特別講義

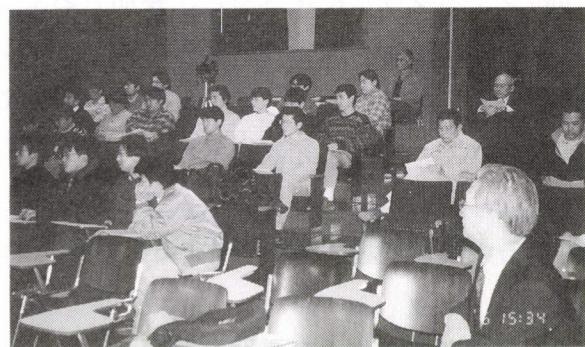


写真-2 会場風景

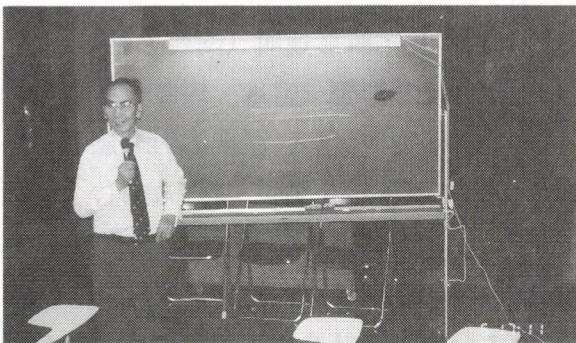


写真-3 質問に答える先生



写真-4 福岡先生の音頭で乾杯

講演の後、会場から次の質問がありました。

- ①耐久性をどのように考えたら宜しいでしょうか。
- ②日本で施工する場合どういうシステムで行っているか分かりませんが、材料はケミカルな工場で作っていて施工はゼネコンで行っているのが一般です。フィルターとかテンション材はいいとしても問題になるのはメンブレンを廃棄場の下に敷くような場合、継ぎ目の接合が重要です。現場は風も吹くし、土砂もでてくるし、飛ぶし、クリーンではありません。そういうところをうまくクリアしているのでしょうか。昔、池に敷いたことがありますが水がどんどん漏ってきて、取り扱いが難しいという印象を持っております。そういう状態は現在かなり改善されているのでしょうか。日本のシステムにまだなじまないのでないかと思いますがどうでしょうか。
- ③日本ではリフレクションクラック防止にジオシンセティックスが使われていますが、配布されたテキストには効かないと書かれていますので先生の見解をお聞きしたいのですが。という質問がでましたがこれらに対して英國の例、ご自身がなされた栗山ダム、青森県の仕事などの例を入れて丁寧に答えられました。

懇親会は福岡先生の音頭で乾杯を行い、先生を囲んでなごやかに懇談を行いました。